

たきざわ通信

事務連絡
平成 29 年春号

春日部市議会議員
滝澤 英明

URL: www.takizawa-hideaki.jp/

たきざわ英明後援会事務所 〒344-0063 春日部市緑町 6-14-34 TEL・FAX 048-736-7832



ご挨拶

皆様には、日頃より大変お世話になっております。私の議員活動もお陰様で12年目を迎えます。昨年6月より1年間は、2度目となる議会選出監査委員の責務を果たしております。

昨年7月には、地域の拠点病院として春日部市立医療センターが開院しました。医療センターの開院に合わせて、「小児救急夜間診療所」が隣接する市役所第2別館1階に移転し、新たに開所しました。

医療センターの開院は、私が議員を目指した大きな目標の一つでした。

医療機能の更なる充実を実現させて参ります。

春日部市のまちづくりは、少子高齢化等に対応した安心で、快適な生活環境の実現、財政面及び経済面における持続可能な都市経営を可能とすることが、大きな課題です。

私は、市民の皆様がいきがいを感じ、人に優しく、心かよう、住みよいまちになるよう全力を尽くして参ります。今後ともご支援、ご理解、ご指導を宜しくお願い申し上げます。

市役所の移転先は旧市立病院敷地に決定！

本庁舎の移転先として、旧市立病院敷地と文化会館敷地の2カ所について検証しました。その結果、各防災機関と災害に強いネットワークを構築することが出来ることや早期実現性の観点において優位性が見られることから、最有力候補地である旧市立病院敷地に建設することが適当であると判断されました。

3月定例議会に春日部市役所の位置を定める条件の一部改正について議案が提出され可決されました。

		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目
旧市立病院	新本庁舎	基本設計・実施設計		建設工事		竣工						
	現本庁舎				解体設計・工事							
	旧市立病院	解体設計・工事										
	新公園					設計・工事	竣工					
文化会館及び図書館	新本庁舎			基本設計・実施設計			建設工事			竣工		
	新文化会館・図書館	基本設計・基本計画		基本設計・実施設計			建設工事			竣工		
	現本庁舎								解体設計・工事			
	現文化会館・図書館				解体設計・工事							
	新公園									設計・工事	竣工	
課題						文化会館・図書館 使用不可						

災害に強いネットワーク

市役所本庁舎は、市民の生命、身体及び財産を災害から守るために、各拠点との、より災害に強いネットワークを構築し相互連携を図ることが必要です。

《各拠点の役割》

市立医療センター：医療機関の拠点

中央町第1公園（予定）：市立医療センターとの連携のとれた空間を整備し、救護活動や復旧活動を支援する

避難地としての機能を持つ

大沼運動公園：消防、警察、自衛隊などの活動拠点

埼玉県防災ヘリコプターの離着陸場

春日部警察署：警告・避難誘導、降雨通の秩序、捜索など

春日部市消防本部：救助活動

春日部市立医療センター中期実施計画（新改革プラン）

春日部市立医療センター中期実施計画（新改革プラン）平成28年度～平成33年度が3月に示されました。

昨年7月に開院した当センターは、平成22年3月に策定した「春日部市立病院再整備計画 基本構想」で定めた新病院の基本的方向性に基づき整備され、新改革プランは新病院で強化された機能を最大限に活かし、当センターが担うべき役割を果たすための安全で質の高い医療の提供とともに、安定した持続可能な経営基盤を確立するものです。

数値目標

患者数目標

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
1日当り入院患者数	272人	290人	295人	300人	300人	300人
1日当り外来患者数	710人	760人	770人	780人	780人	780人

医療機能などの目標（※H28年度は実績見込み）

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
がん登録数	1,000件	1,100件	1,200件	1,300件	1,300件	1,300件
手術件数	2,800件	3,200件	3,400件	3,500件	3,500件	3,500件
分娩件数	124件	300件	400件	400件	400件	400件
救急受入件数	2,900件	3,500件	3,600件	3,800件	4,000件	4,000件
（ER型救急の導入）	2,900件	3,800件	4,000件	4,500件	4,800件	5,000件
紹介率	60%	65%	70%	75%	75%	75%
逆紹介率	21%	25%	30%	30%	30%	30%

医療費窓口払い廃止の対象範囲の拡充について（こども医療費）

平成29年10月診療分から、接骨院、整骨院、マッサージ院、はり・きゅう院なども窓口での医療費の支払いが不要となります。（保険診療に限る）

一ノ割駅駅前広場

春日部市では、社会情勢の変化に対応したまちづくりを実現するため、鉄道駅を地域の拠点に医療や福祉、商業、住居などを集約したまちづくり（コンパクトシティ）への方向転換を図る取組みを行っています。この事業では、集約したまちづくりの実現のため第一歩として、鉄道駅としての交通結節点の機能強化や駅利用者の利便性・安全性を向上させる目的に駅前広場を暫定整備したものです。

次年度以降も、駅前広場が整備されたことにより、国道4号から駅前広場までの交通の増加に伴う歩行者などの安心・安全の確保のため、電柱の移設を行い道路空間の確保を行って参ります。

来年度予算では、約1,600万円が計上されています。

何十年も手付かずであった一ノ割駅周辺の整備が、ようやくスタートしました。課題や要望は、沢山ありますが着実な整備が進むよう地域の皆さんと努力して参ります。



ふるさとかすかべ応援寄付金について

【実績】

■H27年度のふるさとかすかべ応援寄付金額
約、1,900万円

■H27年度中の「ふるさと納税」による市税の減収（市民税寄付金額税額控除額より）
約6,900万円
この殆どが、他自治体への寄付と考えられる。
⇒約1,900万円－約6,900万円＝▲約5,000万円

【見込み】

■H28年度のふるさとかすかべ応援寄付金額
A 約6,800万円（3月補正後の額）

■H28年中の「ふるさと納税」による市税の減収の見込みはH27年度の約2倍程度を見込む
（市民税寄付金税額控除額見込み）
B 約1億4,000万円

⇒ A－B 約6,800万円－約1億4,000万円＝▲約7,000万円以上の見込み

■経費率65%

①お礼品＋送料 約50%

②代行手数料＋クレジットカード決済手数料＋ポータルサイト使用料＋郵便代（寄付金受領書やワンストップ）＋印刷製本費 約15%

春日部市公共施設マネジメント基本計画

基本方針

【公共施設マネジメントの三つの視点】

■まちづくりの視点を重視

地域の将来像を見据えた公共施設の適正な配置の検討

■供給量の適正化

将来の人口動向や財政状況を踏まえ、原則として新規整備は抑制し、公共施設のコンパクト化（統合・廃止、規模縮小など）を推進

■既存施設の有効活用

計画的な修繕・改修による品質の保持に努め、可能な限り施設の「有効活用」

計画期間

計画期間は、H29年度～H59年度（31年間）

10年ごと（第1期～第3期）に分け、行動計画を盛り込む

公共施設の現状と課題

【公共施設の保有数量】

ハコモノ施設全体の延床面積は、282施設 約48.1万㎡。（東京ドーム10個分に相当）
そのうち、教育施設（小中学校）が約56.5%を占めている。

主だったインフラ施設である道路、上下水道管を単純に合計すると約2,500kmです。（北海道から沖縄までの直線距離に相当）

【ハコモノ施設の築年別の整備状況】

築30年以上が経過している建物が約7割（H29年度時点）を占めている。
これらの建物は、H39年度以降、一斉に建て替え時期を迎える。

【施設の稼働率】

施設の平均稼働率は、約26.2%です。（H26年度実績）

【全体目標】

ハコモノ施設における全体目標

コストを年当たり34.1億円（計画期間の31年間で1,057億円）縮減する
施設総量（延床面積）を約20%縮減する

インフラ施設における全体目標

インフラマネジメントを推進し、コストを年当たり36.6億円（計画期間の31年間で1,134億円）縮減する

治水対策事業・雨水公共下水道事業（H29年度）

- 緑町地内舗装工事（緑町1丁目）
- 公共下水道備後西ポンプ場改修工事
- 公共下水道緑町ポンプ場改修工事（緑町5丁目）
- 公共下水道土井ポンプ場改修工事（緑町2丁目）
- 粕壁ポンプ場騒音対策及び機器更新（H28～H29）